

第130回横浜市景況・経営動向調査（令和6年9月実施）（通常調査）

調査結果のまとめ

- ・ 自社業況BSIは、全産業で▲15.6と、前期より2.7ポイントの上昇
- ・ 業種別では、製造業が前期より5.1ポイント上昇し▲21.3、非製造業は1.1ポイント上昇し▲11.8と、ともに改善

【調査のポイント】

- 今期（令和6年7-9月期）の自社業況BSI（※）は▲15.6と、前期（▲18.3）と比べて2.7ポイント上昇しました。
- 業種別では、製造業の今期のBSIは▲21.3と、前期（▲26.4）より5.1ポイント上昇しました。非製造業の今期のBSIは▲11.8と、前期（▲12.9）より1.1ポイント上昇しました。
- 規模別では、大企業の今期のBSIは▲18.4と、前期（▲2.6）より15.8ポイント低下、中堅企業の今期のBSIは▲10.3と、前期（▲6.8）と比べて3.5ポイント低下となりました。中小企業の今期のBSIは▲16.7と、前期（▲21.8）より5.1ポイント上昇、また中小企業のうち小規模企業の今期のBSIは▲23.9と、前期（▲24.0）より0.1ポイント上昇しました。

【調査対象】市内企業1,000社（回収数：678社、回収率：67.8%）

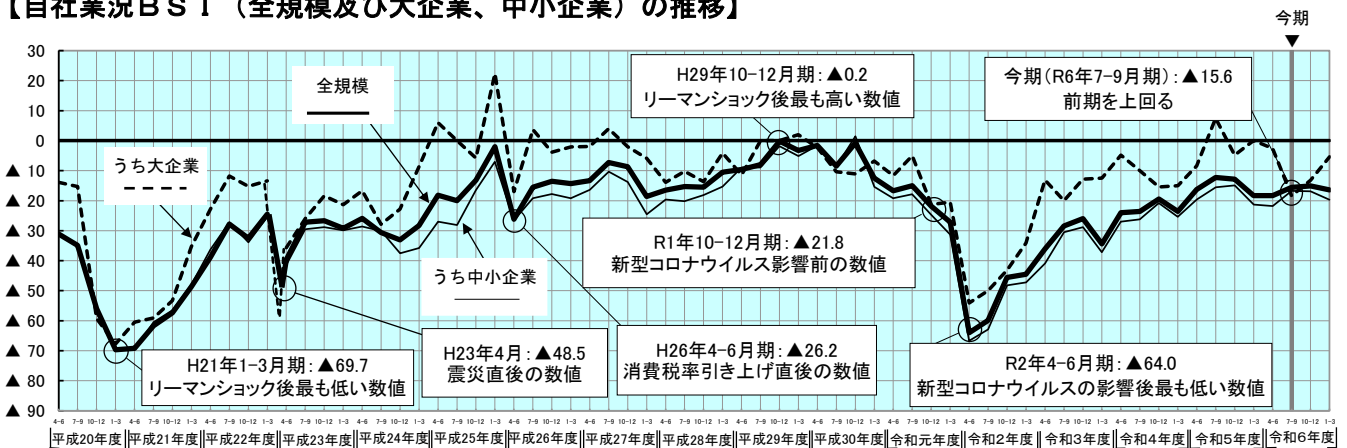
【調査時期】令和6年7月24日～8月19日

※BSI（Business Survey Index）：自社業況BSIは、自社業況が「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合を減じた値です。

【調査の概要】

1 自社業況判断（自社業況BSI：良い%-悪い%）

【自社業況BSI（全規模及び大企業、中小企業）の推移】



【自社業況BSI（業種別・規模別）の推移】

		令和5年 10-12月期	令和6年 1-3月期	令和6年 4-6月期 (前期)	令和6年 7-9月期 (今期)	今期-前期	令和6年 10-12月期 (来期)	令和7年 1-3月期 (再来期)
全産業		▲12.8	▲18.3	▲18.3	▲15.6	2.7	▲15.1	▲16.4
業種	製造業	▲13.4	▲21.1	▲26.4	▲21.3	5.1	▲18.4	▲19.0
	非製造業	▲12.3	▲16.5	▲12.9	▲11.8	1.1	▲12.9	▲14.6
規模	大企業	▲4.8	0.0	▲2.6	▲18.4	▲15.8	▲13.2	▲5.4
	中堅企業	▲4.5	▲9.5	▲6.8	▲10.3	▲3.5	▲7.8	▲5.3
	中小企業	▲14.9	▲21.3	▲21.8	▲16.7	5.1	▲16.9	▲19.7
	うち小規模企業	▲20.3	▲26.3	▲24.0	▲23.9	0.1	▲26.3	▲27.7

裏面あり



GREEN × EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



【業種別動向】(前期:令和6年4月～6月期、今期:令和6年7月～9月期、来期:令和6年10月～12月期)

業種	前期	今期	来期	ヒアリング対象企業のコメント
食料品等	☁️ 0.0 (0.0)	☔️ ▲ 21.8 (▲ 23.8)	☔️ ▲ 8.7 (▲ 9.5)	・生産コストの上昇の影響と消費者の節約志向により業況が悪化している。 ・国内需要の減退と中国市場の低迷、円安による原材料輸入コストの上昇、コストアップ分の製品価格への転嫁の難しさを感じている。(ともに食料品製造・販売)
鉄鋼・金属等	☔️ ▲ 33.4 (▲ 32.1)	☔️ ▲ 27.6 (▲ 26.3)	☔️ ▲ 27.6 (▲ 26.3)	・自動車の生産が増え、売り上げは回復傾向である。(自動車車体部品製造業) ・エネルギー・材料費高騰による影響は引き続き大きく、十分に価格転嫁することができず利益は下がっている。(精密金型加工)
一般機械	☔️ ▲ 27.9 (▲ 28.1)	☔️ ▲ 20.0 (▲ 17.8)	☔️ ▲ 18.3 (▲ 21.5)	・自動車のEV化によるリチウムイオン電池の普及や生成AIのデータ処理に伴うハードディスク需要の増加が企業業績のプラスに作用している。(一般機械製造) ・為替の影響で、業績回復の兆しがまったく見られない。(電機めっき業)
電機・精密等	☔️ ▲ 27.9 (▲ 31.5)	☔️ ▲ 6.8 (▲ 5.1)	☁️ ▲ 2.3 (0.0)	・インバウンド需要でホテル利用者増に伴う浄水器の利用が増加している。(浄水器製造業) ・半導体の生産拡大とともに、自動車試験機の需要が多く、業況は改善してきた。ただし、人手不足が課題となっている。(ともに精密機器製造)
輸送用機械	☔️ ▲ 16.7 (▲ 25.0)	☔️ ▲ 10.5 (0.0)	☔️ ▲ 21.0 (▲ 12.5)	・自動車産業において、世界的に生産台数が回復基調であり、その恩恵を受けている。 ・建機や工作機械の中国向け輸出の減少しているが、インバウンド需要で大型観光バスの受注が回復傾向である。(ともに物流機器の製造販売)
建設業	☁️ ▲ 3.4 (▲ 3.9)	☔️ ▲ 6.9 (▲ 5.7)	☔️ ▲ 24.1 (▲ 24.5)	・人材不足や人件費・材料費の高騰が利益を圧迫している。(土木工事) ・度重なる原材料費と労務単価の値上げに受注単価が追いつかず赤字になる工事が多くなっている。(建設、舗装工事)
運輸・倉庫業	☔️ ▲ 15.2 (▲ 21.6)	☔️ ▲ 14.9 (▲ 18.9)	☔️ ▲ 6.4 (▲ 8.1)	・価格転嫁はある程度できたが貨物の動きがあまりよくない。 ・物流2024年問題等もあり値上げに応じてくれた荷主が多くあり先期より売上増が見込まれる。ただし物価も上がっているため利益確保は難しい。(ともに運送業)
卸売業	☔️ ▲ 12.4 (▲ 8.3)	☔️ ▲ 3.3 (▲ 2.2)	☔️ ▲ 6.6 (▲ 4.5)	・2027年に園芸博覧会が有るため、工事材料の需要がある。(造園緑化資材総合商社) ・半導体業界活況に伴う設備投資増加に伴い、検査装置の引き合いが強くなっている。(理化学機械器具製造業)
小売業	☔️ ▲ 27.6 (▲ 32.2)	☔️ ▲ 37.0 (▲ 40.0)	☔️ ▲ 31.5 (▲ 33.3)	・酷暑による来店客の減少が響き業況は悪い。(輸入品の小売販売業) ・所得環境の改善等から個人消費は回復基調で推移すると見込まれるものの、物価上昇による買い控えが見られる。(織物・衣服・身の回り品小売業)
飲食店・宿泊業	☔️ ▲ 7.1 (▲ 27.3)	☔️ 16.7 (0.0)	☔️ 18.2 (▲ 14.3)	・法人利用の増加、観光目的の海外ゲストの需要増による売上が上昇している。(宿泊業) ・来客数は減少傾向ではあるが客単価が増加している。また、コロナ禍で培った経費削減の意識が継続されており、売上増収の中でも経費が抑えられている。(飲食業)
不動産業	☔️ ▲ 20.0 (▲ 23.5)	☔️ ▲ 18.0 (▲ 23.5)	☔️ ▲ 12.8 (▲ 23.5)	・みなとみらい地区や横浜駅周辺に新規ビルが建ち上がり、物件の競争が増えているため、賃貸オフィスの空室が増えている。 ・不動産市場が良すぎで、売り物件が枯渇している。(ともに不動産業)
情報サービス業	☔️ ▲ 7.3 (▲ 15.0)	☔️ 0.0 (▲ 13.6)	☔️ ▲ 9.1 (▲ 22.8)	・自動車関連のソフトウェア開発の需要が好調であるため、業績は上向きである。 ・ソフトウェア開発の需要は依然として堅調であり、それなりの受注は見込める。但し、人材不足は変わらず、事業拡大の足かせになっている。(ともにソフトウェア開発)
対事業所サービス業	☁️ ▲ 1.6 (▲ 11.1)	☔️ ▲ 8.4 (▲ 6.3)	☁️ ▲ 5.0 (▲ 3.1)	・人件費、エネルギー・材料費高騰による影響は大きい。(自動車関連商品の開発) ・建設需要が少なく、建設系廃棄物の発生が著しく減少しているため、業況は悪化している。(産業廃棄物処理業)
対個人サービス業	☔️ ▲ 29.5 (▲ 28.0)	☔️ ▲ 16.7 (▲ 13.1)	☔️ ▲ 13.8 (▲ 8.7)	・今年度は売上と人のバランスが良好な状況である。(生活関連サービス業) ・販売価格を適正な価格にしやすく、客先の活動がようやく2019年程度になってきており、投資も控えざるを得なかった状況から脱却している。(レンタカー業)

※BSI=自社業況「良い」%-自社業況「悪い」%  
 ※今期の BSI (全規模) が前期よりも 10 ポイント以上差がある、業種については、矢印を表記している。  
 ※表中の見方は右図の通り。

☔️	← 天気マーク(下図参照)
▲ 5.8	← 全規模のBSI値
(▲ 22.2)	← 中小企業のBSI値

BSI	▲60.1以下	▲60.0～▲40.1	▲40.0～▲20.1	▲20.0～▲5.1	▲5.0～5.0	5.1～20.0	20.1以上
天気	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☔️	☀️



**GREEN x EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



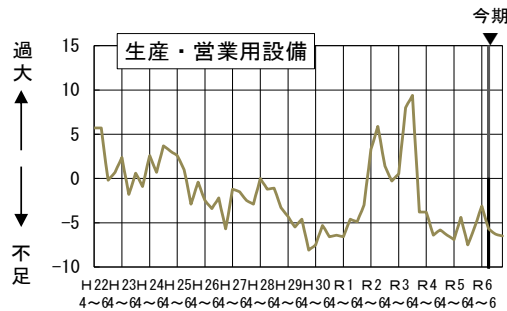
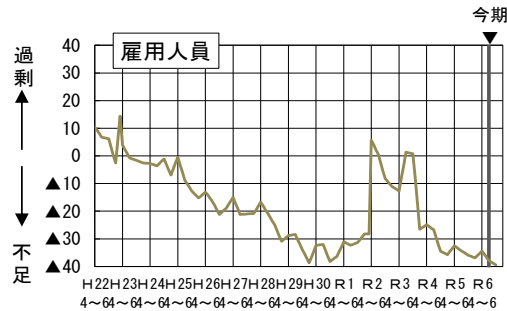
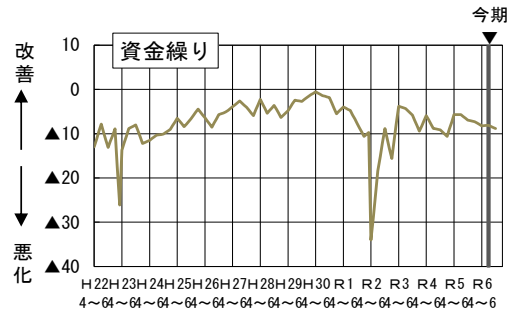
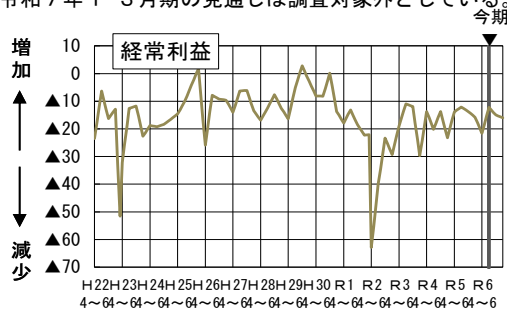
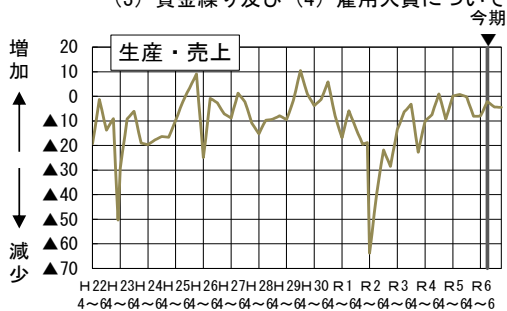
## 2 主要項目の推移

### 【主要項目(全産業)の推移】

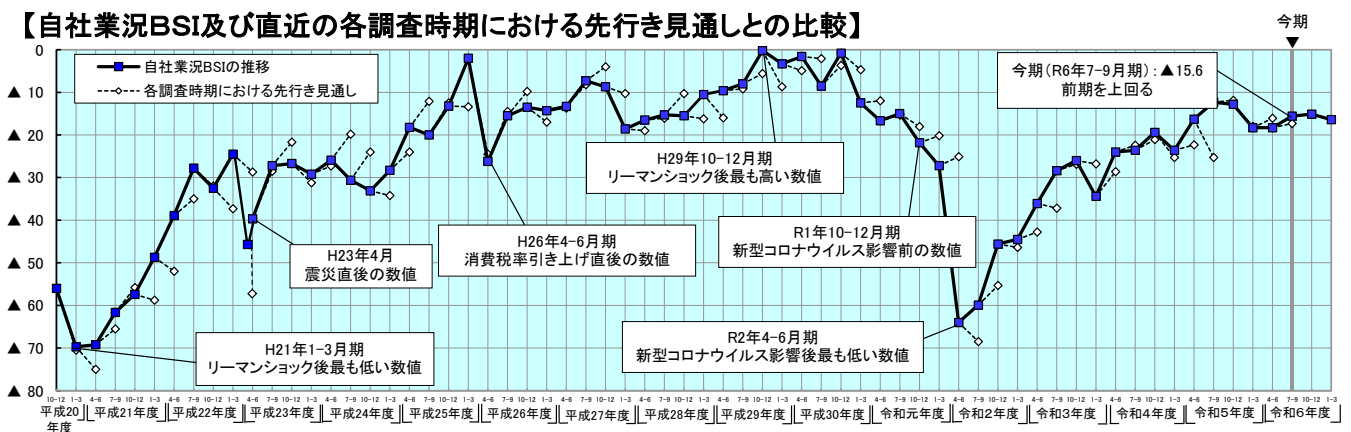
	令和5年 10-12月期	令和6年 1-3月期	令和6年 4-6月期 (前期)	令和6年 7-9月期 (今期)		令和6年 10-12月期 (来期)	令和7年 1-3月期 (再来期)
					今期-前期		
自社業況	▲12.8	▲18.3	▲18.3	▲15.6	2.7	▲15.1	▲16.4
(1)生産・売上	▲0.2	▲8.1	▲8.0	▲2.1	5.9	▲4.3	▲4.5
(2)経常利益	▲13.7	▲15.8	▲21.6	▲12.2	9.4	▲15.0	▲16.0
(3)資金繰り	▲6.9	▲7.3	▲8.2	▲8.1	0.1	▲8.8	
(4)雇用人員	▲35.9	▲36.9	▲34.4	▲37.9	▲3.5	▲39.4	
(5)生産・営業用設備	▲7.5	▲5.5	▲3.1	▲5.7	▲2.6	▲6.3	▲6.5

(注) 令和6年10-12月期及び令和7年1-3月期は見通し。

(3) 資金繰り及び(4) 雇用人員については、令和7年1-3月期の見通しは調査対象外としている。



### 【自社業況BSI及び直近の各調査時期における先行き見通しとの比較】



裏面あり



**GREEN x EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



(参考資料) 自社業況BSI (業種別・規模別の推移)

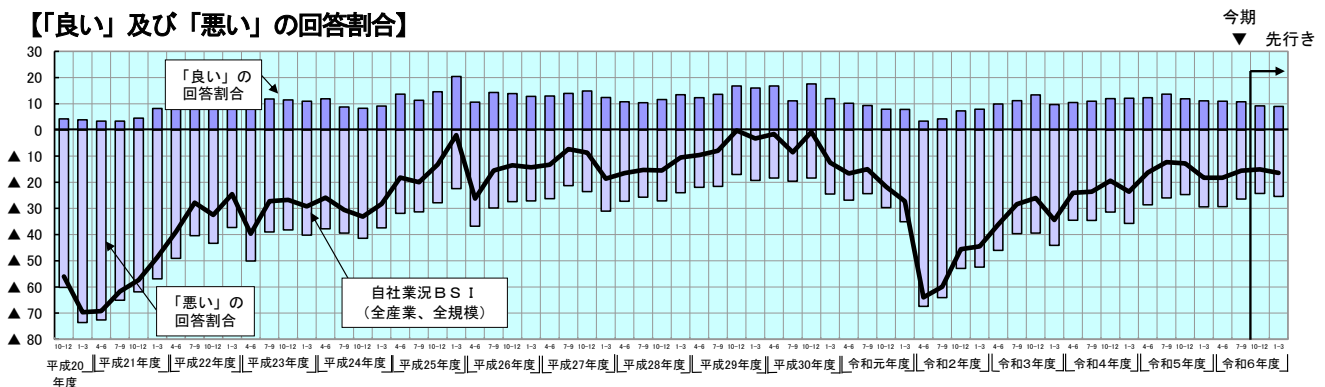
	令和6年	令和6年	今期-前期	7-9月期の回答の割合%			令和6年	令和7年	回答企業数
	4-6月期	7-9月期		良い	普通	悪い	10-12月期	1-3月期	
全産業	▲ 18.3	▲ 15.6	2.7	10.8	62.8	26.4	▲ 15.1	▲ 16.4	(※) 677
製造業	▲ 26.4	▲ 21.3	5.1	10.7	57.4	32.0	▲ 18.4	▲ 19.0	272
食料品等	0.0	▲ 21.8	▲ 21.8	4.3	69.6	26.1	▲ 8.7	▲ 8.7	23
繊維・衣服等	0.0	▲ 44.4	▲ 44.4	0.0	55.6	44.4	▲ 11.1	▲ 33.3	9
印刷	▲ 29.4	▲ 50.0	▲ 20.6	0.0	50.0	50.0	▲ 56.3	▲ 31.2	16
石油・化学等	▲ 16.0	▲ 14.3	1.7	19.0	47.6	33.3	▲ 9.5	▲ 10.0	21
鉄鋼・金属等	▲ 33.4	▲ 27.6	5.8	6.9	58.6	34.5	▲ 27.6	▲ 32.1	58
一般機械	▲ 27.9	▲ 20.0	7.9	13.3	53.3	33.3	▲ 18.3	▲ 23.7	60
電機・精密等	▲ 27.9	▲ 6.8	21.1	20.5	52.3	27.3	▲ 2.3	0.0	44
輸送用機械	▲ 16.7	▲ 10.5	6.2	15.8	57.9	26.3	▲ 21.0	▲ 5.3	19
その他製造業	▲ 44.4	▲ 22.7	21.7	0.0	77.3	22.7	▲ 18.2	▲ 27.3	22
非製造業	▲ 12.9	▲ 11.8	1.1	10.9	66.4	22.7	▲ 12.9	▲ 14.6	405
建設業	▲ 3.4	▲ 6.9	▲ 3.5	13.8	65.5	20.7	▲ 24.1	▲ 29.3	58
運輸・倉庫業	▲ 15.2	▲ 14.9	0.3	6.4	72.3	21.3	▲ 6.4	▲ 12.8	47
卸売業	▲ 12.4	▲ 3.3	9.1	18.0	60.7	21.3	▲ 6.6	▲ 11.5	61
小売業	▲ 27.6	▲ 37.0	▲ 9.4	3.7	55.6	40.7	▲ 31.5	▲ 27.8	54
飲食店・宿泊業	▲ 7.1	16.7	23.8	41.7	33.3	25.0	18.2	18.2	12
不動産業	▲ 20.0	▲ 18.0	2.0	5.1	71.8	23.1	▲ 12.8	▲ 18.0	39
情報サービス業	▲ 7.3	0.0	7.3	15.9	68.2	15.9	▲ 9.1	▲ 14.0	44
対事業所サービス業	▲ 1.6	▲ 8.4	▲ 6.8	8.3	75.0	16.7	▲ 5.0	0.0	60
対個人サービス業	▲ 29.5	▲ 16.7	12.8	3.3	76.7	20.0	▲ 13.8	▲ 10.4	30

BSI (Business Survey Index)は、景気の強弱感を次の算式により求めている。BSI = 良い% - 悪い%

	令和6年	令和6年	今期-前期	4-6月期の回答の割合%			令和6年	令和7年	回答企業数
	4-6月期	7-9月期		良い	普通	悪い	10-12月期	1-3月期	
全産業	▲ 18.3	▲ 15.6	2.7	10.8	62.8	26.4	▲ 15.1	▲ 16.4	(※) 677
大企業	▲ 2.6	▲ 18.4	▲ 15.8	0.0	81.6	18.4	▲ 13.2	▲ 5.4	38
中堅企業	▲ 6.8	▲ 10.3	▲ 3.5	11.1	67.5	21.4	▲ 7.8	▲ 5.3	117
中小企業	▲ 21.8	▲ 16.7	5.1	11.5	60.3	28.2	▲ 16.9	▲ 19.7	522
うち小規模企業	▲ 24.0	▲ 23.9	0.1	11.3	53.5	35.2	▲ 26.3	▲ 27.7	213
製造業	▲ 26.4	▲ 21.3	5.1	10.7	57.4	32.0	▲ 18.4	▲ 19.0	272
大企業	▲ 12.5	▲ 33.3	▲ 20.8	0.0	66.7	33.3	▲ 33.3	▲ 11.1	9
中堅企業	0.0	▲ 37.5	▲ 37.5	0.0	62.5	37.5	0.0	14.3	8
中小企業	▲ 27.6	▲ 20.4	7.2	11.4	56.9	31.8	▲ 18.4	▲ 20.3	255
うち小規模企業	▲ 24.4	▲ 23.2	1.2	10.4	56.0	33.6	▲ 24.0	▲ 26.2	125
非製造業	▲ 12.9	▲ 11.8	1.1	10.9	66.4	22.7	▲ 12.9	▲ 14.6	405
大企業	0.0	▲ 13.8	▲ 13.8	0.0	86.2	13.8	▲ 6.9	▲ 3.6	29
中堅企業	▲ 7.3	▲ 8.3	▲ 1.0	11.9	67.9	20.2	▲ 8.3	▲ 6.5	109
中小企業	▲ 16.3	▲ 13.1	3.2	11.6	63.7	24.7	▲ 15.4	▲ 19.2	267
うち小規模企業	▲ 23.3	▲ 25.0	▲ 1.7	12.5	50.0	37.5	▲ 29.6	▲ 29.5	88

(※) 回収数 (678件) のうち、無回答数 (1件) を除いた値。

【「良い」及び「悪い」の回答割合】



◎報告書掲載 URL <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kigyoshien/tokei-chosa/keikyou.html>

お問合せ先		
経済局総務部企画調整課長	粕谷 美路	Tel 045-671-2565
横浜商工会議所企画課長	牧畑 昌明	Tel 045-671-7433



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

